

# 改悪年金法の実施を中止し、国民が安心できる年金制度をつくることを求める請願署名

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

2004年 月

## 〔請願趣旨〕

10月から実施が予定されている年金制度「改正」法は、政府・与党が、先の国会で、ウソとごまかしの説明で押し通し、国会のルールを踏みにじって強行成立させたものです。とうてい認めることはできません。日本共産党の国会質問で明らかになったように、保険料は際限なく上がり、給付水準は「50%」どころか、さらに下がり続けるもので、国民生活を根底から脅かすものです。日本の年金制度の根本問題である、低すぎる給付や、国民年金で、保険料を払えない人が1000万人を超すという「空洞化」の問題も放置されたままです。これでは、国民の年金制度への不信はいつそう高まり、年金制度そのものが崩壊しかねない事態です。

参院選挙後の世論調査でも8割近くが、「法律をつくり直すべきだ」と要求しています。国民みんなが安心できる年金制度をつくるために、下記の事項を請願いたします。

## 〔請願項目〕

**国民のだれもが納得できる年金制度をつくるために、改悪年金法の実施を中止して白紙に戻し、国民的な討論をすすめること。**

氏 名	住 所

取り扱い団体 **日本共産党**